

内 容：①果実の収穫適期の見方について、②果実の品質調査方法について



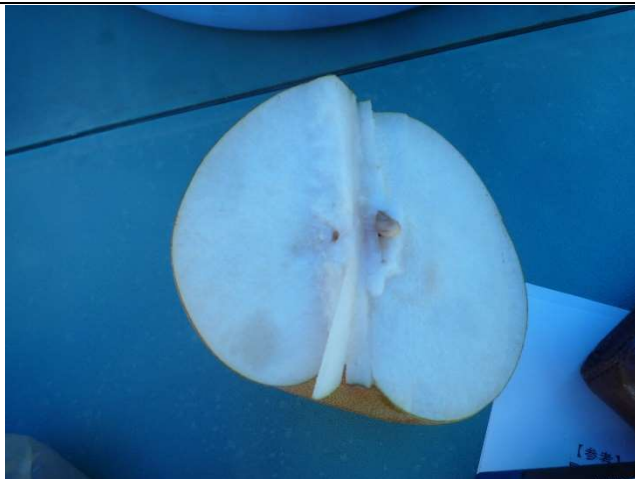
彩玉、豊水など果実品質調査方法（説明）

今年のなしの収穫状況を説明した後、彩玉で収穫適期の果実の見方や収穫方法を説明した。成熟すると果実の尻部の色の緑色が抜け赤みを帯びてくる。日の当たった面だけではなく、日の当たらない面も確認する。



果実調査の様子

果実の糖度は、赤道部（横面）を1.5cmの深さで果実を切り取り、屈折糖度計に果汁を絞り測定した。果実で茶色に着色した面は糖度が高く、まだ青い面は糖度がやや低かった。



調査した果実

落下した彩玉は、表面の色がまだ青く、種の色は白いままだった。



カラーチャートで果実の色を確認

カラーチャート（果実収穫色見板）で収穫した果実の色を確認した。今年はカラーチャートで1.5程度で収穫する。果実の面によって色が異なるので難しい。